

「美祢市病院経営強化プラン」パブリックコメントの結果について

案 件 名	美祢市病院経営強化プラン
意見募集期間	令和6年1月16日（火）から令和6年2月19日（月）まで
意見提出者数	2名（男性1名）、1団体
意見提出数	8件
提出方法	持参1件、メール1件、FAX1件
地区別提出数	美祢地域1件、秋芳地域1件

提出されたご意見ご質問に対する考え方（回答）

P.15 4 市立2病院の現状と問題点 (1) 病院機能 ②外来機能

【表10】市立2病院の外来機能

ご質問・ご意見	回 答
<p>男性の高齢者の方のほとんどが前立腺等に泌尿器の疾患を有しています。現在美東病院に泌尿器科がないことから、市外の病院へ内科も含めて通院する方が多いと感じます。</p> <p>泌尿器科の外来体制を美東病院に整えていただくようお願いします。</p> <p>また美東病院にリハビリテーション科はありますが、骨、関節疾患を持つ方のリハビリ通所施設がないこと、美祢市の通所の送迎対応がないこと、市外の通所リハビリにおいても送迎対応が困難との事で受け入れてもらえない現状にあります。</p> <p>美祢東地域の方の住み慣れた地域で自立した生活を維持できるように介護保険での通所リハビリ施設整備を地域住民の方が強く要望されています。</p>	<p>○ 泌尿器科外来について、山口大学医学部附属病院から美祢市への非常勤医師派遣は透析センターを有する美祢市立病院に集約されていますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>

P.15 4 市立2病院の現状と問題点 (1) 患者数

【表14】土日祝日に患者自身が救急外来を受診場合の受入数の推移

ご質問・ご意見	回 答
<p>美東病院は美東・秋芳地域の在宅当番医制（一次救急）に参加していたが</p>	<p>○ 2021年度から美東病院が在宅当番医制に参加していない理由は次のと</p>

ご質問・ご意見	回 答
<p>2021年度より参加していない。 参加しなくなった経緯はどのようなことでしょうか。 また、今後地域のかかりつけ医が高齢化し（1 医院は休止状態）今後の一次救急体制が維持できるかどうか分からない状況になると思います対策等はあるのでしょうか？</p>	<p>おります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来、美祢地域では美祢市医師会、美東・秋芳地域では美祢郡医師会による在宅当番医制が実施されていた。 <p>2021年4月1日、美祢市全域を美祢郡市医師会全体による当番医制に切り替わった際に、「本来救急告示病院として美祢市全域からの救急患者受入機能を有する美東病院の役割」を踏まえ、当該在宅当番医制への参加を見送ったもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もちろん、現在も美東病院は、一次救急（比較的軽症な救急患者を受け入れる）機能、二次救急（入院が必要な救急患者を受け入れる）機能を持つ病院として、救急患者を受け入れています（当プラン17頁参照）。 ○ 地域の診療所医師の高齢化を踏まえると、美東・秋芳地域での一次救急の提供については、これまでどおり美東病院の救急外来の維持が不可欠になると考えています。

P.18 4 市立2病院の現状と問題点 (3) 患者厚生

【表15】年齢別利用者

ご質問・ご意見	回 答
<p>入院、外来ともに75歳以上の後期高齢者が最も多い状況。地域の後期高齢者は免許の返納や、一人世帯、高齢者世帯で家族が県外や就労により通院介助や入院手続き等が難しい方が多いのが現状です。 家族等が支援できない時にケアマネや包括、介護タクシーや自費のヘルパーで院内介助を必要とされる方の支援を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ご指摘の本市ケアマネジャーや訪問介護に携わる職員の高齢化及び人材不足と同様、本事業局においても、医療技術者だけでなく、事務系職員についても不足しています。そのような中、限られたスタッフ配置で、移動介助など出来る限り対応を行っているところです。 ○ また、病院ボランティアの活用については、この度の新型コロナウイルス

ご質問・ご意見	回 答
<p>現在、美祢市においてはケアマネや訪問介護の高齢化、人材不足が深刻な状況になりつつあり今後同様の支援体制は困難な状況になると思われれます。地域の高齢者の方が安心して通院ができるように院内介助の体制を整えていただくようお願いします。(ボランティアや事務職員等の活用が必要と思います)</p>	<p>感染症といった新興感染症に対する感染管理の観点も踏まえて、慎重に検討を進めます。</p> <p>○ 一方、患者さんへの診療（治療）上の説明や病状把握のため、日常生活上の支援を行っておられる方の外来診療での同席が必要となるケースも増加傾向にあり、キーパーソンの方などの同席について、ご理解、ご協力をお願いしているところです。</p>

P. 37 7 課題の整理と解決策の実施 (4) 医師の働き方改革への対応

② 市立2病院の常勤医師の働き方の状況

ご質問・ご意見	回 答
<p>「なお、この仕組みにおいては、救急受け入れ件数が多ければ、許可されないことに留意する必要があります。・・・規則に抵触する可能性があるためです。」。この一文は暗に救急受け入れ数を抑制する必要性の根拠を示したと誤解されかねないと思います。</p> <p>医師法、歯科医師法の第19条第1項で応召義務が定められており、正当な理由がなければ診療を拒否できません。令和元年12月26日に厚生労働省は、応召義務を拒否できる正当な理由を公表しました。<出典:000581246.pdf (mhlw.go.jp)></p> <p>上記の一文は、厚生労働省が提示した診療を断る正当な理由に該当しないと思います。誤解を招かないように修正するか、削除しても、文脈上の問題はないように思います。</p>	<p>○ このプランは、医療・介護関係者はもちろん市民の皆様とともに「美祢市のこれからの医療・介護」を考えるため、現状を可能な限り分かりやすく記載することとしています。</p> <p>○ 救急患者受け入れに関する市立2病院の立場は、次の2点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立の病院として、救急医療が必要な市民を積極的に受け入れる。 ・ いわゆるコンビニ受診（一般的に外来診療をやっていない夜間休日に緊急性のない軽症患者が病院の救急外来を自己都合で受診する行為）の抑制に協力いただきたい。 <p>○ ご指摘の箇所はこの趣旨を明確に記載して誤解を招かないようにします。</p> <p>【追加文案】 次の文章を「②市立2病院の常勤医師の働き方の状況」の末尾に付加。</p> <p>「市立2病院は救急医療が必要な市民を積極的に受け入れることとしており、その方針は変わりませんが、</p>

ご質問・ご意見	回 答
	<p>いわゆるコンビニ受診（一般的に外来診療をやっていない夜間休日に緊急性のない軽症患者が病院の救急外来を自己都合で受診する行為）の抑制にご協力いただき、医師の働き方の適正化と救急医療の提供の継続が両立できるよう、ご協力をお願いしたいと考えています。」</p>

P. 37 7 課題の整理と解決策の実施 (4) 医師の働き方改革への対応

③ 上記を踏まえた対応

ご質問・ご意見	回 答
<p>「市立病院及び美東病院は、いずれの病院も救急告示病院ですが・・・負担感（宇部市から美祢市へ搬送されることなど）の強いものになっています。」。</p> <p>宇部・小野田医療圏病院群輪番制参加病院であることから、「宇部市から美祢市へ」搬送される負担感。美祢市民の目線でいえば、逆の「美祢市から宇部市へ」です。夜間救急で、美祢市民が宇部市の病院へ搬送され、入院しなかった場合の事例を紹介します。</p> <p>（事例）22時、口腔出血のために、美祢市内A救急診療所を受診。手に負えず、A診療所から美東病院へ救急搬送。手に負えず、美東病院から大学病院へ救急搬送。止血し、自宅に帰宅できたのは午前4時。電車もバスも動いていない時間帯です。美祢市民にとっては、宇部市へ搬送されることは時間的にも金銭的にも負担となります。</p> <p>美祢市民のための市民病院という視点からは、医師の時間外勤務の負担軽減</p>	<p>○ 市外の病院が輪番日の場合であっても、美祢市消防本部救急隊は、かかりつけ医をはじめ美祢市立2病院及び市内救急クリニックへの搬送を基本としていることから、輪番制に関して美祢市民への影響はほとんどありません。</p> <p>また、病院群輪番制への参加を問題にするのは、市立病院は、救急受け入れについて美祢市民を優先すべきではないかという問題意識もあるところです。</p> <p>○ なお、そもそも当該医療機関では手に負えない場合は、できるだけ早く対応可能な医療機関に搬送する必要があります。ご意見中の事例の場合、そういった例である可能性もあると思います。</p> <p>○ ご指摘の箇所に「市立の病院として、休日・夜間においても救急医療が必要な美祢市民を積極的に受け入れる」旨を明記して対応します。</p>

ご質問・ご意見	回 答
<p>の趣旨は理解できますが、時間外の救急を受け入れることの明記は、必要ではないでしょうか。</p> <p>救急患者を受け入れにくい事由を理論立てて文書に残すことは美祢市民のための市立病院の存在意義にも関わります。少なくとも、「宇部市から美祢市へ」を「美祢市から宇部市へ」と変更しても、文脈上の問題はないように思います。</p>	

P. 47・48 11 市立2病院がその役割を果たしつづけるための条件

ご質問・ご意見	回 答
<p>末尾の断定的な口調、「効率的ともいえません」、「市民に最適な医療や介護を提供することができます」、「医療従事者の力にあります」、「医療提供の基本となります」が、47頁の「これしかないといった正解があるわけではありません」との整合性の兼ね合いで、気になります。</p> <p>周防大島町（人口14,798）は、2病院（大島病院、東和病院）、橘医院、介護医療院、老人保健施設、訪問看護ステーション、3居宅介護支援授業所、看護専門学校があります。令和3年に再編を余儀なくされています。〈出典：ごあいさつ 病院事業局の概要 周防大島町病院事業局 (ecomas.jp)〉</p> <p>美祢市も明日の日は確かならずですから、文末を、少し、柔らかい表現にされた方がいいように思いました。</p>	<p>○ このプランは、プランのはしがきで記載しているように「美祢市の医療需要が変化する中で、市立2病院が、経営の健全化（収支均衡・資金確保）を図りつつ、その役割を果たし続けるための条件は何か」を問う視点で記述しております。</p> <p>○ それは、市立2病院の存続を多くの市民の皆様が支持していると考えためです。美祢地域にあっては市立病院が、美東・秋芳地域にあっては美東病院が外来・入院において、最も利用されていることからわかります（当プラン12頁参照）。</p> <p>また、市としても、プラン記載のとおり市立2病院の医療拠点・まちづくり拠点・雇用拠点として位置付けているところです。</p> <p>○ そのことを前提として、冒頭の視点で、その達成のために必要な方向性や考え方を明示し、市民の皆様のご協力を得たいと考えています。</p> <p>○ なお、市立2病院の再編統合・機能分化については、医療・介護資源が限</p>

ご質問・ご意見	回 答
	<p>られた中でも何に重点を置くかによって、様々な考え方があり得ます。市としては、現時点で最善と考えられる視点と方向性を明示して、市民の皆様のご意見とご協力を得ながら、確実に進める他ないと考えています。</p> <p>○ そのことを前提に、多くの方にご理解いただけるよう、ご指摘の箇所の表現について工夫します。</p> <p>【変更文案】 次の文章を「(1) ②市立2病院間の関係、 ③市立2病院の多機能性の源の確保」に変更。</p> <p>② 市立2病院間の関係</p> <p>○ 市立2病院が急性期病院と慢性期病院にそれぞれ分化することは、市内での医療の完結を目指す点で最適な医療とはいえ、患者の流れを無視する点で<u>基本的な方向性</u>として疑問が生じます。</p> <p>○ 市立2病院それぞれが総合診療（プライマリ・ケア）を担う病院として、市外の大規模急性期病院、市内の診療所・介護施設と連携することで、市民に最適な医療や介護を提供することができると考えられます。</p> <p>③ 市立2病院の多機能性の源の確保</p> <p>○ 市立2病院の多機能性の源は、医師の総合診療の力とそのオーダーに応える薬剤師、看護師等の医療従事者の力にあります。</p> <p>○ このため、専門診療科をもつ医師であっても、総合診療の力に秀でた医師とその医師とともにチーム医療を展開することのできる医療従事者の確保とその研修</p>

ご質問・ご意見	回 答
	を医療提供の基本と位置付けることとなります。

P.48 12 点検・評価・住民の理解のための取組

ご質問・ご意見	回 答
<p>「具体的には、病院の取り組みについては市の広報誌やホームページなどの媒体を利用し、」。</p> <p>失礼とは思いますが、ホームページの掲載内容が不十分のように思います。例えば、非常勤医師のプロフィールと顔写真を記載されてはいかがでしょうか。</p> <p>整形外科をみると、現職の山口大学病院整形外科とリハビリテーション科の准教授がおられます。紹介状を用意し、診療予約をとり、長い時間待たされてようやく診察して頂ける医師に、紹介状なく診て頂ける。美祢市民はご存知ないと思います。他の診療科も同じようなことがあるのではないのでしょうか。</p>	<p>○ ご指摘有難うございます。ホームページの記載内容については、山口大学医学部附属病院から派遣されている外来担当の先生方について、市民の皆様へより分かりやすい情報提供を行う等、ご指摘の点を含めて、改善してまいります。</p>

P.48 11 市立2病院がその役割を果たしつづけるための条件

(1) 供給面からみた条件

②市立2病院間の関係

ご質問・ご意見	回 答
<p>市立2病院間の関係を急性期と慢性期に機能分化させるのではなく、それぞれが総合診療（プライマリーケア）を担う病院として、市外の大規模急性期病院、市内の診療所・介護施設と連携するという考え方は、美祢市の地理的現状を踏まえると適切なものと評価できる。</p>	<p>○ ご理解をいただき有難うございます。</p>